

## みどりの 女神が行く!

竹川 智世 (たけかわ ちせ)

### 自然の恩恵に感謝する 「みどりの感謝祭」に参加

日比谷公園で開催された「森と花の祭典 みどりの感謝祭」では、合計五つのステージにて、食や観光など多様な分野とのコラボレーションに挑戦しました。今までは式典のような厳格な場面への出席が多かったのですが、今回はカジュアルなトークショーなど楽しい雰囲気だったので、ちよつとした芸能人気分を味わうことができたことが嬉しい喜びです。

その中で、私が最も興味があったステージはインバウンドトークショーです。外国語記事数国内No.1のWEBメディア「JapanTravel」の高田めぐみさんと、国内No.1の英字フリーペーパー「METROPOLIS」のニール・バターさんと一緒にしました。日本の緑は海外から見ても魅力的なので、あとは受け手が共感しやすい発信が大事だと思います。

みどり×食のトークショー  
きのこやジビエなど森の美味しさにわくわく



ツリークライミング体験。この写真、日比谷公園です

ングや森ヨガなどの体験型イベントにも参加しました。特にフォレストアドベンチャーは、子ども達にも大人気のアスレチックで、私もとっても楽しかったです！ちなみに私は普段YouTubeを見るのですが、フォレストアドベンチャーの体験動画も、人気になっているようです。今の子供達はYouTuberの楽しげな様子から「自分もやりたい！」と行動したりするので、体験がそのまま動画になるような発信のやり方もいいなと思いました。

### みどりの女神になって 初めての植樹体験

5月は国際生物多様性の日があり、グリーンウェイブの催事が各地で行われました。実はみどりの女神に選んでいただいたから5ヶ月目にして、やっと初の植樹体験をしました！最初は静岡県岡原の掛川市にて行われた潮騒の杜植樹祭に参加し、海の近くで海岸林のための植樹です。

続いて、緑の祭典、かながわ未来の森づくり2018 in はこねでは、対照的に山中での植樹です。斜面での作業や、他の植物の根っこをクワで切ったりと、大変な作業でした。植樹というとなんだか子どもたちが多く参加していて誰でも出来るイメージですが、本来の林業の植樹とは、こうした大変な作業が当たり前のだろうと思えました。

私は「地球生き物応援団グリーンウェイブ大使」を拝命しています。自然あふれる和歌山県は、生物多様性の宝庫

です。朝は鳥のさえずりが聞こえ、夜はかえるや虫の鳴き声が聞こえました。そうした自然というものは当たり前だと捉えられがちで、私もその一人でした。

ですが、急峻な難所での植樹や下草刈りなど、きちんとした山の手入れをしてきてくださる皆様がいるから、普段は中腰ですと作業をなさっている方々がいてくれるから、私たちの当たり前が守られているんだと知りました。前任の2017 みどりの女神の野中葵さんが、みどりは私の父母」とおっしゃっていた意味を、私もしっかりと実感できた気がします。



掛川の海岸林を再生させる植樹活動



箱根の海岸林を再生させる植樹活動